

製品名: フロチリン-1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab11029**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | ウサギポリクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,ELISA |
| 反応性 | ヒト、マウス、ラット |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | ポリクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|--------------------------------------|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000 |
| 分子量 | 48kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|---------------------|
| 遺伝子名 | FLOT1 |
| 別名 | Flotillin-1 |
| 遺伝子 ID | 10211.0 |
| SwissProt ID | O75955 |
| 免疫原 | ヒトフロチリン-1 由来の合成ペプチド |

背景

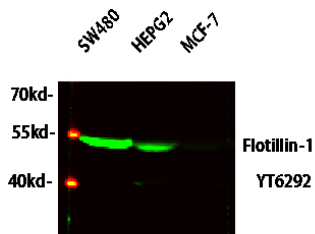
この遺伝子は、細胞内膜上の小さなドメインであるカベオラに局在するタンパク質をコードしています。このタンパク質は、小胞輸送と細胞形態形成に役割を果たしています。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じます。[RefSeq 提

供、2016年1月]機能: カベオラ膜内の足場タンパク質として機能し、カベオラまたはカベオラ様小胞の形成に機能的に関与する可能性があります。類似性: バンド 7/mec-2 ファミリーに属する。フロチリンサブファミリー。細胞内局在: カベオラの膜関連タンパク質。質量分析により、ステージ I からステージ IV までのメラノソーム分画で同定されました。サブユニット: フロチリン-1、フロチリン-2、カベオリン-1、カベオリン-2 からなるヘテロオリゴマー複合体。

研究分野

細胞生物学

画像データ



さまざまな溶解液のウェスタンプロット分析、Flotillin-1 ウサギポリクローナル抗体は 1:1000 に希釈され、4° で一晩処理され、二次抗体は 1:10000 に希釈され、37° で 1 時間処理されました。